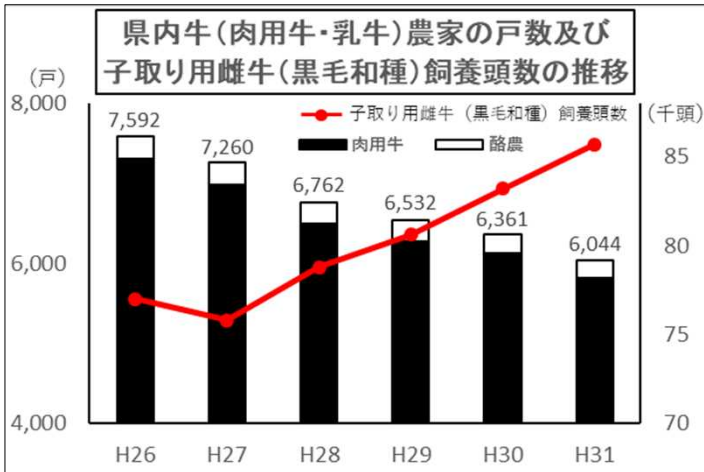


牛・人・草が紡ぐひなたの畜産魅力アップ事業

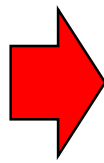
現状・課題



- 戸数の減少により生産基盤が弱体化
生産基盤を維持するため、新規参加者が必要
⇒ 就農者を呼び込む、畜産業の魅力アップが急務
- 次代を担う経営者の存在
先を見据えて規模拡大を図る経営者が事業継続しやすい環境作りが必要
⇒ モチベーションを高めるため、所得向上等を図る取組が求められる

対策

魅力ある畜産を実現し、畜産人口の増加・維持を図るには



「しっかり」働ける環境
「すっきり」効率的な管理
「がっちり」稼げる経営

が必要

【牛、人、草の課題を総合的に解決する】

スマート畜産促進支援事業

- ◎スマート畜産施設整備の促進
- ・スマート畜産を推進するモデル畜舎の整備支援



飼料生産効率化促進支援事業

- ◎コントラクター組織の強化
- ・コントラクター組織の体質強化及び地域内外連携強化にかかる取組支援



牛
草
人

◎労働環境の改善

- ・肉用牛定休型ヘルパー組合の創設及び利用促進支援



◎畜産コンサル体制の強化

- ・コンサル体制強化及び酪農経営の改善に係る取組支援



畜産経営魅力アップ推進事業

効果

スマート畜産・働き方改革の実現
【持続可能で魅力的な畜産経営】

産出額(肉用牛・乳用牛)のUP
【R1:847億円 → R7:859億円】